

学校コード F128310108794

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

兵庫大学

教育学部

教育学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人睦学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学長室
職名・氏名	ガクチョウシツチョウ イワサキ ハルオ 学長室長 岩崎 治夫
電話番号	079-427-5111（内線：2030）
（夜間）	079-427-5111（内線：2030）
e-mail	p-office@hyogo-dai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

教育学部

＜教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人睦学園

(2) 大学名

兵庫大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒675-0195

兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	ワタナベ アズマ 渡邊 東 (平成20年1月15日)	コウノ マコト 河野 真 (令和4年11月1日)	任期満了に伴う変更(5)
学長	コウノ マコト 河野 真 (平成28年7月1日)		
学部長	セキ ヒロカズ 關 浩和 (令和5年4月1日)		
学科長等	マツダ ノブキ 松田 信樹 (令和5年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 教育学科 学士(教育学)	教育学・保育 学関係	4 年	100 人	2年次 0 人 3年次 5 人 4年次 0 人	410 人	-	-

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期						
A	入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	100人	一人	0.69倍	一倍	0.69倍	一倍	
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	246	(-)					
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	207	(-)					
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	185	(-)					
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	69	(-)					
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.69						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生は記入しないでください。**
- ・ [] 内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	69 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{69} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
建学の精神	宗教と人生	1後	2								1	
	仏教と現代社会	1後		2							1	
	兵庫大学の学びと和	1後		2							2	
	地域と仏教	1前		1							2	
	兵大京都学	1後		1							2	
	小計(5科目)	-	2	6	0	0	0	0	0	0	0	4
	コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								1
		英語	1後	2								2
		実用英語 I	1後		2							1
		実用英語 II	2前		2							1
中国語(初級)		1前		2							1	
中国語(中級)		1後		2							1	
韓国語(初級)		1前		2							1	
韓国語(中級)		1後		2							1	
コンピュータ演習		1前	2								1	
コンピュータグラフィックの基礎		1後		2							2	
小計(10科目)	-	6	14	0	0	0	0	0	0	0	9	
国際理解	国際理解と宗教 I (キリスト教)	1前		2							1	
	国際理解と宗教 II (イスラム教)	1後		2							1	
	国際関係論	1後		2							1	
	比較文化論	1後		2							1	
小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	4	
歴史と文化	歴史学	1前		2							1	
	文学	1後		2							1	
	色彩のデザイン	1前		2							1	
	小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	3
地域に学ぶ	地域文化論	1後		2							1	
	建築デザインと地域	1後		2							1	
	地域と文化財	1前		2							1	
	地域資料を読む	1後		2							1	
	日本の伝統文化「将棋」を学ぶ	1前		2							1	
	ファシリテーション入門	1前		2							3	
小計(6科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	0	5	
現代社会を読み解く	哲学	1前		2							1	
	日本国憲法	1前	2								1	
	人権の歴史	1前		2							1	
	政治学	1前		2							1	
	社会学	1前		2							1	
	経済学	1前		2							1	
	現代社会の理解	1前		2							1	
	小計(7科目)	-	2	12	0	0	0	0	0	0	0	7
自然と科学	生命倫理学	1前		2							1	
	心理学	1前		2							1	
	化学	1前		2							1	
	生物学	1前		2							1	
	身のまわりの科学	1前		2							2	
	プログラミング入門	1後		2							1	
	小計(6科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	0	6
くらしと健康	食と健康	1後		2							1	
	健康・スポーツ I (講義)	1後	2								1	
	健康・スポーツ II (実技)	1前		1							2	
	健康・スポーツ III (実技)	1後		1							1	
小計(4科目)	-	2	4	0	0	0	0	0	0	0	4	
キャリアデザイン	わたしのためのキャリア設計	1前		2							1	
	ヒューマンサービスとマネジメント	3後		2							3	
	入門ボランティア	1通		2							3	
	小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
建学の精神	宗教と人生	1後	2									1	
	仏教と現代社会	1後		2								1	
	兵庫大学の学びと和	1後		2								2	
	地域と仏教	1前		1								2	
	兵大京都学	1後		1								2	
	小計(5科目)	-	2	6	0	0	0	0	0	0	0	4	
	コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2									1
		英語	1後	2									1
		実用英語 I	1後		2								1
		実用英語 II	2前		2								1
中国語(初級)		1前		2								1	
中国語(中級)		1後		2								1	
韓国語(初級)		1前		2								1	
韓国語(中級)		1後		2								1	
コンピュータ演習		1前	2				1					1	
コンピュータグラフィックの基礎		1後		2								2	
小計(10科目)	-	6	14	0	0	1	0	0	0	0	8		
国際理解	国際理解と宗教 I (キリスト教)	1前		2								1	
	国際理解と宗教 II (イスラム教)	1後		2								1	
	国際関係論	1後		2								1	
	比較文化論	1前		2								1	
小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	4		
歴史と文化	歴史学	1前		2								1	
	文学	1後		2								1	
	色彩のデザイン	1前		2								1	
	小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	3	
地域に学ぶ	地域文化論	1後		2								1	
	建築デザインと地域	1後		2								1	
	地域と文化財	1前		2								1	
	地域資料を読む	1後		2								1	
	日本の伝統文化「将棋」を学ぶ	1前		2								1	
	ファシリテーション入門	1前		2								3	
小計(6科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	0	5		
現代社会を読み解く	哲学	1前		2								1	
	日本国憲法	1前	2									1	
	人権の歴史	1前		2								1	
	政治学	1前		2								1	
	社会学	1前		2								1	
	経済学	1前		2								1	
	現代社会の理解	1前		2								1	
	小計(6科目)	-	2	10	0	0	0	0	0	0	0	6	
自然と科学	生命倫理学	1前		2								1	
	心理学	1前		2								1	
	化学	1前		2								1	
	生物学	1前		2								1	
	身のまわりの科学	1前		2								2	
	プログラミング入門	1後		2								1	
	ICT・データ活用入門	1前		2								2	
	数学基礎	1後		2								1	
	AI・データサイエンス活用論	1後		2								1	
小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	0	8		
くらしと健康	食と健康	1後		2								1	
	健康・スポーツ I (講義)	1後	2									1	
	健康・スポーツ II (実技)	1前		1								2	
	健康・スポーツ III (実技)	1後		1								1	
小計(4科目)	-	2	4	0	0	0	0	0	0	0	4		
キャリアデザイン	わたしのためのキャリア設計	1前		2								1	
	ヒューマンサービスとマネジメント	3後		2								3	
	入門ボランティア	1通		2								3	
	小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
ゼミナール科目	クラスゼミナールⅠ	1前	2			3	1	1					
	クラスゼミナールⅡ	1後	2			2	3						
	クラスゼミナールⅢ	2前	2			2	2	1					
	クラスゼミナールⅣ	2後	2			2	2						
	卒業研究Ⅰ	3前	2			9	8	2					
	卒業研究Ⅱ	3後	2			9	8	2					
	卒業研究Ⅲ	4前	2			9	8	2					
	卒業研究Ⅳ	4後	2			9	8	2					
	小計(8科目)	-	16	0	0	9	8	2	0	0	0	0	
	幼児教育・保育内容科目	こどもと健康	1前	1									1
		こどもと人間関係	1前	1			1						1
		こどもと環境	1後	1									1
こどもと言葉		1前	1			1						1	
こどもと表現		1後	1			1	1					1	
こどもとサイエンス (こどもと科学遊び)		2後	1			1						1	
保育内容総論		2後	1									1	
保育内容「健康」の指導法		2後	2									1	
保育内容「人間関係」の指導法		2後	2									2	
保育内容「環境」の指導法		2前	2									1	
保育内容「言葉」の指導法		2後	2			1						1	
保育内容「表現」の指導法		2前	2			1	1					1	
小計(12科目)	-	0	17	0	1	4	0	0	0	0	5		
幼児教育・保育実践科目	音楽Ⅰ	1前	1			2							
	音楽Ⅱ	1後	1			2							
	総合表現教育Ⅰ	1後	1		1	1						1	
	総合表現教育Ⅱ	2前	1		1	1						1	
	教師・保育者論	3前	2			1							
	教育・保育の課程と評価	2前	2			1							
	幼児理解	2後	1		1								
	保育原理	1前	2			1							
	こども家庭福祉	2前	2			1							
	社会福祉	1前	2			2							
	こども家庭支援論	2前	2									1	
	こども家庭支援の心理学	3後	2			2						1	
	こどもの保健	1後	2									1	
	こどもの食と栄養Ⅰ	2前	1									1	
	こどもの食と栄養Ⅱ	2後	1									1	
	乳児保育Ⅰ	1前	2									1	
	乳児保育Ⅱ	1後	1									1	
	こどもの健康と安全	2後	1									1	
	特別支援教育Ⅰ	2前	1			1							
	特別支援教育Ⅱ	2後	1			1							
	社会的養護Ⅰ	2前	2									1	
	社会的養護Ⅱ	3前	1									1	
	子育て支援	2後	1									1	
	青年心理学	3後	2			1							
小計(24科目)	-	0	35	0	4	5	0	0	0	0	9		
初等教科内容科目	初等国語科内容論	1前	1			1							
	初等社会科内容論	1前	1			1							
	初等算数科内容論	1後	1			1							
	初等理科内容論	1前	1			1							
	初等生活科内容論	1後	1			1							
	初等音楽科内容論	1前	1			1							
	初等図画工作科内容論	1後	1			1							
	初等家庭科内容論	1前	1									1	
	初等体育科内容論	1後	1									1	
	初等英語科内容論	1後	1									1	
小計(10科目)	-	0	10	0	4	2	0	0	0	0	3		
初等教科指導法科目	初等国語科教育法	2後	2			1							
	初等社会科教育法	2後	2			1							
	初等算数科教育法	2前	2			1							
	初等理科教育法	2後	2			1							
	初等生活科教育法	2前	2			1							
	初等音楽科教育法	2後	2			1							
	初等図画工作科教育法	2前	2			1							
	初等家庭科教育法	2後	2									1	
	初等体育科教育法	2前	2									1	
	初等英語科教育法	2前	2									1	
小計(10科目)	-	0	20	0	4	2	0	0	0	0	3		
教職発展科目	個別教育計画概論	2前	2			1							
	個別教育計画作成演習	3後	1			1							
	小計(2科目)	-	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
ゼミナール科目	クラスゼミナールⅠ	1前	2			3	1	1				
	クラスゼミナールⅡ	1後	2			2	3					
	クラスゼミナールⅢ	2前	2			3	2	1				
	クラスゼミナールⅣ	2後	2			2	2					
	卒業研究Ⅰ	3前	2			10	7	2				
	卒業研究Ⅱ	3後	2			10	7	2				
	卒業研究Ⅲ	4前	2			10	7	2				
	卒業研究Ⅳ	4後	2			10	7	2				
小計(8科目)	-	16	0	0	10	7	2	0	0	0	0	
幼児教育・保育内容科目	こどもと健康	1前	1									1
	こどもと人間関係	1前	1			1						1
	こどもと環境	1後	1									1
	こどもと言葉	1前	1			1						1
	こどもと表現	1後	1			1	1					1
	こどもとサイエンス (こどもと科学遊び)	2後	1			1						1
	保育内容総論	2後	1									1
	保育内容「健康」の指導法	2後	2									1
	保育内容「人間関係」の指導法	2後	2									2
	保育内容「環境」の指導法	2前	2									1
	保育内容「言葉」の指導法	2後	2			1						1
	保育内容「表現」の指導法	2前	2			1	1					1
小計(12科目)	-	0	17	0	1	4	0	0	0	0	5	
幼児教育・保育実践科目	音楽Ⅰ	1前	1			2						
	音楽Ⅱ	1後	1			2						
	総合表現教育Ⅰ	1後	1		1	1						1
	総合表現教育Ⅱ	2前	1		1	1						1
	教師・保育者論	3前	2			1						
	教育・保育の課程と評価	2前	2			1						
	幼児理解	2後	1		1							
	保育原理	1前	2			1						
	こども家庭福祉	2前	2			1						
	社会福祉	1前	2			2						
	こども家庭支援論	2前	2									1
	こども家庭支援の心理学	3後	2			2						1
	こどもの保健	1後	2									1
	こどもの食と栄養Ⅰ	2前	1									1
	こどもの食と栄養Ⅱ	2後	1									1
	乳児保育Ⅰ	1前	2									1
	乳児保育Ⅱ	1後	1									1
	こどもの健康と安全	2後	1									1
	特別支援教育Ⅰ	2前	1			1						
	特別支援教育Ⅱ	2後	1			1						
	社会的養護Ⅰ	2前	2									1
	社会的養護Ⅱ	3前	1									1
	子育て支援	2後	1									1
	青年心理学	3後	2			1						
小計(24科目)	-	0	35	0	5	4	0	0	0	0	9	
初等教科内容科目	初等国語科内容論	1前	1			1						
	初等社会科内容論	1前	1			1						
	初等算数科内容論	1後	1			1						
	初等理科内容論	1前	1			1						
	初等生活科内容論	1後	1			1						
	初等音楽科内容論	1前	1			1						
	初等図画工作科内容論	1後	1			1						
	初等家庭科内容論	1前	1									1
	初等体育科内容論	1後	1									1
	初等英語科内容論	1後	1									1
小計(10科目)	-	0	10	0	5	1	0	0	0	0	3	
初等教科指導法科目	初等国語科教育法	2後	2			1						
	初等社会科教育法	2後	2			1						
	初等算数科教育法	2前	2			1						
	初等理科教育法	2後	2			1						
	初等生活科教育法	2前	2			1						
	初等音楽科教育法	2後	2			1						
	初等図画工作科教育法	2前	2			1						
	初等家庭科教育法	2後	2									1
	初等体育科教育法	2前	2									1
	初等英語科教育法	2前	2									1
小計(10科目)	-	0	20	0	5	1	0	0	0	0	3	
教職発展科目	個別教育計画概論	2前	2			1						
	個別教育計画作成演習	3後	1			1						

卒業要件及び履修方法

『共通教育科目』から20単位以上、『専門教育科目』から92単位以上(「ゼミナール科目」から16単位、「教育・保育実践科目」から20単位以上、「教職発展科目」から5単位以上、「教職・保育キャリア科目」から20単位以上を含む)及び『共通教育科目』『専門教育科目』のいずれかから124単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間)(半期24単位))

卒業要件及び履修方法

『共通教育科目』から20単位以上、『専門教育科目』から92単位以上(「ゼミナール科目」から16単位、「教育・保育実践科目」から20単位以上、「教職発展科目」から5単位以上、「教職・保育キャリア科目」から20単位以上を含む)及び『共通教育科目』『専門教育科目』のいずれかから124単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間)(半期24単位))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目**についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

＜共通教育科目＞

- ・ Michel H. Fox兼任准教授の辞退の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・ 教育内容充実の理由により、「コンピュータ演習」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」「兼1」に変更。
- ・ 担当教員辞退の理由により、「生命倫理学」の兼任教員を変更。
- ・ 教育課程の見直しの理由により、「現代社会の理解」を削除。
- ・ 教育課程充実の理由により、「ICT・データ活用入門」「数学基礎」「AI・データサイエンス活用論」を科目追加。

＜専門教育科目＞

- ・ 井上朋子准教授の教授昇任に伴い、以下の科目について変更。
 - 「クラスゼミナールⅢ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「講師1」から「教授3」「准教授1」「講師1」に変更。
 - 「卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授9」「准教授8」「講師2」から「教授10」「准教授7」「講師2」に変更。
 - 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」「教授1」に変更。
 - 「総合表現教育Ⅰ」「総合表現教育Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
 - 「初等音楽科内容論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「初等音楽科教育法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「インターシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授2」から「教授5」「准教授1」に変更。
 - 「情報活用の実践Ⅱ（デジタル教科書の活用を含む）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」「兼2」から「教授2」「准教授1」「兼2」に変更。
- ・ 担当教員辞退の理由により、「教育の思想と原理」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・ 教育内容充実の理由により、「教職入門」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・ 教育内容充実の理由により、「教育方法・技術論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」「兼1」に変更。
- ・ 教育内容充実の理由により、「生徒指導論」の科目名称を「生徒指導・進路・キャリア教育の理論及び方法」に変更。
- ・ 教育課程充実の理由により、「特別支援教育の基礎」を科目追加。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	154 科目	0 科目	176 科目	22 科目 [0]	157 科目 [3]	0 科目 [0]	179 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	現代社会の理解	2	1・前	一般	選択	共通教育科目のカリキュラム改正に伴う廃止 代替措置無
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 「現代社会の理解」は同類の教授内容である授業科目の精査に伴い廃止した。現代社会との関わり方を、市民活動・貧困問題・労働問題・政治参加・教育問題から考察する科目として、「日本国憲法」「人権の歴史」「政治学」「社会学」「経済学」の科目を配置しているため、学生の履修等への影響はない。</p> <p>「学生への周知方法」 学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{176} = \boxed{0.56} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	兵庫大学全体 兵庫大学短期大学部と 共用					
	校舎敷地	0 m ²	72,973 m ²	0 m ²	72,973 m ²						
	運動場用地	0 m ²	9,600 m ²	0 m ²	9,600 m ²						
	小 計	0 m ²	82,573 m ²	0 m ²	82,573 m ²						
	そ の 他	0 m ²	10,706 m ²	0 m ²	10,706 m ²						
	合 計	0 m ²	93,279 m ²	0 m ²	93,279 m ²						
(2) 校 舎	専 用	132.00 m ²	29,154.11 m ²	1,773.35 m ²	31,059.46 m ²	兵庫大学全体 兵庫大学短期大学部と 共用					
	(132.00m ²)	(29,242.01m ²)	(1,773.35m ²)	(31,059.46m ²)							
(3) 教 室 等	講 義 室	29 室	演 習 室	28 室	実験実習室	34 室	情報処理学習施設	4 室	語学学習施設	1 室	兵庫大学全体 兵庫大学短期大学部と 共用
					(補助職員 3人)	(補助職員 1人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	教育学部 教育学科				20 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	学部単位での特定不能のため、 大学全体の数 図書等充実、データベースへの 切り替えのため (5)			
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点					
	大学全体	56,734 [7,105] 64,864 [6,910]	1,716 [215] 1,699 [236]	0 [0] 3 [1]	6,019 6,006	5,902	58				
	計	56,734 [7,105] 64,864 [6,910]	1,716 [215] 1,699 [236]	0 [0] 3 [1]	6,019 6,006	5,902	58				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	1,829 m ²		270		151,200						
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要								
	2,286 m ²		テ ニ ス コ ー ト 4 面				-				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等	480千円	480千円	図書購入費	1,100千円	1,000千円	1,000千円			
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	2,500千円	2,500千円	2,500千円			
	学生1人当り	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	納付金	1,290千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円	-千円	-千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、入学検定料、雑収入等								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	兵庫 大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
現代ビジネス学部	4	120	3年次2人	444	-	0.98	-	0.92	-	令和4	平成28	兵庫県加古川市平岡町新在家2301	令和4年度入学生より入学定員変更(100→120)					
現代ビジネス学科	4	120	3年次2人	444	学士(現代ビジネス)	0.98	-	0.92	-	令和4	平成28	同上						
健康科学部	4	120	3年次5人	490	-	0.85	-	0.74	-	-	平成13	同上						
栄養マネジメント学科	4	80	3年次5人	330	学士(栄養学)	0.81	-	0.70	-	-	平成13	同上						
健康システム学科	4	40	0	160	学士(健康科学)	0.94	-	0.84	-	-	平成13	同上						
教育学部	4	100	3年次5人	100	-	0.69	-	0.69	-	-	令和5	同上						
教育学科	4	100	3年次5人	100	学士(教育学)	0.69	-	0.69	-	-	令和5	同上						
看護学部	4	90	0	360	-	1.11	-	1.10	-	-	平成29	同上						
看護学科	4	90	0	360	学士(看護学)	1.11	-	1.10	-	-	平成29	同上						
生涯福祉学部	4	40	3年次10人	325	-	0.97	-	0.88	-	-	平成18	同上						
社会福祉学科	4	40	3年次5人	165	学士(社会福祉学)	0.99	-	0.94	-	令和5	平成18	同上		令和5年度から3年次編入学定員変更(0→5)				
こども福祉学科	4	50	3年次5人	160	学士(こども福祉)	-	-	0.83	-	-	平成25	同上		令和4年度学生募集停止				
大学全体	4	470	3年次17人	1719	-	-	-	-	-	-	-	-						

大学の名称	兵庫 短期 大学 部										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
保育科第一部	2	100	-	180	短期大学士(保育)	0.60	-	0.58	-	-	昭和32	兵庫県加古川市平岡町新在家2301	令和5年度入学生より入学定員変更(100→80)					
保育科第三部	3	80	-	240	短期大学士(保育)	1.05	-	1.00	-	-	昭和46	同上						
短大全体	2 3	100 80	-	420	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	關 浩和 (64) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等社会科内容論 初等生活科内容論 初等社会科教育法 初等生活科教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ 教育課程論
		松田 信樹 (49) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 幼児理解 青年心理学 個別教育計画概論 個別教育計画作成演習 インターンシップⅡ 教育心理学 発達心理学
専	教授	赤井 利行 (69) <令和5年4月> 修士(教育学)
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等算数科内容論 初等算数科教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ
		大江 実代子 (61) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等国語科内容論 初等国語科教育法 ふれあい体験活動 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ 特別活動論 教職実践演習(小学校)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	關 浩和 (64) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等社会科内容論 初等生活科内容論 初等社会科教育法 初等生活科教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ 教育課程論
		松田 信樹 (49) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 幼児理解 青年心理学 個別教育計画概論 個別教育計画作成演習 インターンシップⅡ 教育心理学 発達心理学
専	教授	赤井 利行 (69) <令和5年4月> 修士(教育学)
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等算数科内容論 初等算数科教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ
		大江 実代子 (61) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等国語科内容論 初等国語科教育法 ふれあい体験活動 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ 特別活動論 教職実践演習(小学校)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	橋本 正巳 (70) <令和5年4月> 学士(教育学)
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 肢体不自由児の教育課程と指導法 肢体不自由教育総論 重複・発達障害教育総論
専	教授	河野 真 (61) <令和5年4月> Ph.D.(英国)
		社会福祉
専	教授	林 敦司 (61) <令和5年4月> 修士(教育学)
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅠ 道徳教育論 総合的な学習の理論と実践 特別活動論
専	教授	半田 結 (61) <令和5年4月> 修士(芸術学)※
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ 初等図画工作科内容論 初等図画工作科教育法 インターンシップⅡ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
専	教授	古田 薫 (61) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅡ 教職入門 教育制度論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	橋本 正巳 (70) <令和5年4月> 学士(教育学)
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 肢体不自由児の教育課程と指導法 肢体不自由教育総論 重複・発達障害教育総論
専	教授	河野 真 (61) <令和5年4月> Ph.D.(英国)
		社会福祉
専	教授	林 敦司 (61) <令和5年4月> 修士(教育学)
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅠ 道徳教育論 総合的な学習の理論と実践 特別活動論
専	教授	半田 結 (61) <令和5年4月> 修士(芸術学)※
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ 初等図画工作科内容論 初等図画工作科教育法 インターンシップⅡ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
専	教授	古田 薫 (61) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅡ 教職入門 教育制度論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田邊 哲雄 (55) <令和5年4月> 修士(臨床教育学)
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こども家庭福祉 社会福祉 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ
専	准教授	安部 洋一郎 (41) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもとサイエンス (こどもと科学遊び) 初等理科内容論 初等理科教育法 情報活用の実践Ⅰ 総合的な学習の理論と実践 小学校教育実習 小学校教育実習リフレクション
専	准教授	石川 恵美 (54) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと言葉 保育内容「言葉」の指導法 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ
専	准教授	磯野 久美子 (57) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと人間関係 教師・保育者論 保育・教職実践演習 幼稚園教育実習 幼稚園教育実習リフレクション

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田邊 哲雄 (55) <令和5年4月> 修士(臨床教育学)
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こども家庭福祉 社会福祉 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ
専	准教授	安部 洋一郎 (41) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもとサイエンス (こどもと科学遊び) 初等理科内容論 初等理科教育法 情報活用の実践Ⅰ 総合的な学習の理論と実践 小学校教育実習 小学校教育実習リフレクション
専	准教授	石川 恵美 (54) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと言葉 保育内容「言葉」の指導法 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ
専	准教授	磯野 久美子 (57) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと人間関係 教師・保育者論 保育・教職実践演習 幼稚園教育実習 幼稚園教育実習リフレクション

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	井上 朋子 (40) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ 初等音楽家内容論 初等音楽家教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
専	准教授	河野 稔 (52) <令和5年4月> 修士(理学)
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅠ 情報社会と情報モラル教育 情報活用の実践Ⅰ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む) 教育データの利活用 教育方法・技術論 教育におけるICT活用の理論と方法
専	准教授	澤田 真弓 (53) <令和5年4月> 修士(学校教育学)※
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 教育・保育の課程と評価 保育原理 子育て支援地域活動Ⅰ 子育て支援地域活動Ⅱ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ
専	准教授	杉田 律子 (52) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 特別支援教育Ⅰ 特別支援教育Ⅱ 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 聴覚障害教育総論 重複・発達障害教育総論 心理検査法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井上 朋子 (40) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ 初等音楽家内容論 初等音楽家教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
専	准教授	河野 稔 (52) <令和5年4月> 修士(理学)
		コンピュータ演習 クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅠ 情報社会と情報モラル教育 情報活用の実践Ⅰ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む) 教育データの利活用 教育方法・技術論 教育におけるICT活用の理論と方法
専	准教授	澤田 真弓 (53) <令和5年4月> 修士(学校教育学)※
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 教育・保育の課程と評価 保育原理 子育て支援地域活動Ⅰ 子育て支援地域活動Ⅱ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ
専	准教授	杉田 律子 (52) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 特別支援教育Ⅰ 特別支援教育Ⅱ 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 聴覚障害教育総論 重複・発達障害教育総論 心理検査法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	立本 千寿子 (45) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ インターンシップⅡ こども音楽療育論
専	講師	平田 真二 (61) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 発達障害児への支援 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 知的障害児の教育課程と指導法 肢体不自由児の教育課程と指導法 知的障害教育総論 重複・発達障害教育総論
専	講師	藤野 正和 (37) <令和5年4月> 修士(文学)※
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅡ 教育相談 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 知的障害児の心理・生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理 重複・発達障害教育総論 心理検査法
兼任	教授	石原 敬子 (57) <令和5年4月> 博士(経済学)
		経済学
兼任	教授	伊藤 秀樹 (59) <令和5年4月> 修士(福祉マネジメント)
		スクールソーシャルワーク論
兼任	教授	稲富 恭 (58) <令和5年4月> 工学修士
		コンピュータグラフィックスの基礎 色彩とデザイン 建築デザインと地域 入門ボランティア

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	立本 千寿子 (45) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ インターンシップⅡ こども音楽療育論
専	講師	平田 真二 (61) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 発達障害児への支援 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 知的障害児の教育課程と指導法 肢体不自由児の教育課程と指導法 知的障害教育総論 重複・発達障害教育総論
専	講師	藤野 正和 (37) <令和5年4月> 修士(文学)※
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅡ 教育相談 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 知的障害児の心理・生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理 重複・発達障害教育総論 心理検査法
兼任	教授	石原 敬子 (57) <令和5年4月> 博士(経済学)
		経済学
兼任	教授	伊藤 秀樹 (59) <令和5年4月> 修士(福祉マネジメント)
		スクールソーシャルワーク論
兼任	教授	稲富 恭 (58) <令和5年4月> 工学修士
		コンピュータグラフィックスの基礎 色彩とデザイン 建築デザインと地域 入門ボランティア

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	北島 律之 (54) <令和5年4月> 博士(芸術工学)
		兵庫大学の学びと和 ファシリテーション入門 心理学
兼任	教授	金子 哲 (61) <令和5年4月> 修士(文学)※
		地域と仏教 歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を読む 日本の伝統文化「将棋」を学ぶ 現代社会の理解 ヒューマンサービスとマネジメント 入門ボランティア
兼任	教授	佐藤 隆 (57) <令和5年4月> 博士(理学)
		生物学
兼任	教授	高野 敦子 (63) <令和5年4月> 博士(工学)
		コンピュータ演習 教育データの利活用
兼任	教授	田端 和彦 (58) <令和5年4月> 博士(学術)
		ファシリテーション入門
兼任	教授	吉原 恵子 (66) <令和6年4月> 修士(教育社会学)※
		社会学 教育社会学
兼任	准教授	大植 崇 (46) <令和5年4月> 博士(看護学)
		ヒューマンサービスとマネジメント
兼任	准教授	岡本 洋之 (62) <令和5年4月> 文学修士※
		教育史
兼任	准教授	小倉 毅 (50) <令和5年4月> 修士(社会福祉学)
		ヒューマンサービスとマネジメント
兼任	准教授	斎藤 正寿 (61) <令和5年4月> 文学修士※
		国際関係論 ファシリテーション入門 政治学
兼任	准教授	樽本 つぐみ (54) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		健康・スポーツ科学Ⅱ(実技) 健康・スポーツ科学Ⅲ(実技)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	北島 律之 (54) <令和5年4月> 博士(芸術工学)
		兵庫大学の学びと和 ファシリテーション入門 心理学
兼任	教授	金子 哲 (61) <令和5年4月> 修士(文学)※
		地域と仏教 歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を読む 日本の伝統文化「将棋」を学ぶ ヒューマンサービスとマネジメント 入門ボランティア
兼任	教授	佐藤 隆 (57) <令和5年4月> 博士(理学)
		生物学
兼任	教授	高野 敦子 (63) <令和5年4月> 博士(工学)
		コンピュータ演習 教育データの利活用
兼任	教授	田端 和彦 (58) <令和5年4月> 博士(学術)
		ファシリテーション入門
兼任	教授	宮崎 光世 (51) <令和5年4月> 理学学士
		ICT・データ活用入門 AI・データサイエンス活用論
兼任	教授	吉原 恵子 (66) <令和5年4月> 修士(教育社会学)※
		社会学 教育社会学
兼任	准教授	大植 崇 (46) <令和5年4月> 博士(看護学)
		ヒューマンサービスとマネジメント
兼任	准教授	岡本 洋之 (62) <令和5年4月> 文学修士※
		教育史
兼任	教授	小倉 毅 (50) <令和5年4月> 修士(社会福祉学)
		ヒューマンサービスとマネジメント
兼任	教授	斎藤 正寿 (61) <令和5年4月> 文学修士※
		国際関係論 ファシリテーション入門 政治学
兼任	准教授	樽本 つぐみ (54) <令和5年4月> 修士(人間科学)
		健康・スポーツ科学Ⅱ(実技) 健康・スポーツ科学Ⅲ(実技)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	原 志津 (58) <令和5年4月> 学術修士(臨床心理学)※
		社会的スキルトレーニングの理論と実践
兼担	准教授	穂積 隆広 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		身のまわりの科学 プログラミング入門
		情報活用の実践Ⅰ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
兼担	准教授	本多 彩 (45) <令和5年4月> 修士(文学)※
		宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 兵大京都学 比較文化論
兼担	准教授	湯瀬 晶文 (53) <令和5年4月> 博士(情報科学)
		地域と仏教 兵大京都学 身のまわりの科学 入門ボランティア
兼担	准教授	Micheal H. Fox (66) <令和5年4月> Master of Arts(米国)
		英語 実用英語Ⅰ
兼担	准教授	森下 博 (52) <令和5年4月> 修士(理学)
		学校教育におけるICT活用
兼担	准教授	矢野 琢也 (54) <令和5年4月> 博士(体育学)
		健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)
兼担	講師	Guomo, Osaze Martin (41) <令和5年4月> 修士(国際関係学)
		英語
兼担	講師	山崎 一諒 (40) <令和5年4月> 博士(農学)
		食と健康
兼任	教授	三宅 一郎 (66) <令和5年4月> 体育学修士
		健康・スポーツ科学Ⅱ(実技)
兼任	准教授	日坂 步都恵 (60) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		こどもと健康 保育内容総論 保育内容「健康」の指導法
兼任	准教授	藤原 照美 (66) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	原 志津 (58) <令和5年4月> 学術修士(臨床心理学)※
		社会的スキルトレーニングの理論と実践
兼担	教授	穂積 隆広 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		身のまわりの科学 プログラミング入門 ICT・データ活用入門
		情報活用の実践Ⅰ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
兼担	教授	本多 彩 (45) <令和5年4月> 修士(文学)※
		宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 兵大京都学 比較文化論
兼担	准教授	湯瀬 晶文 (53) <令和5年4月> 博士(情報科学)
		地域と仏教 兵大京都学 身のまわりの科学 入門ボランティア
兼担	准教授	
兼担	准教授	森下 博 (52) <令和5年4月> 修士(理学)
		学校教育におけるICT活用
兼担	准教授	矢野 琢也 (54) <令和5年4月> 博士(体育学)
		健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)
兼担	准教授	Guomo, Osaze Martin (41) <令和5年4月> 修士(国際関係学)
		英語 実用英語Ⅰ
兼担	准教授	山崎 一諒 (40) <令和5年4月> 博士(農学)
		食と健康
兼任	教授	三宅 一郎 (66) <令和5年4月> 体育学修士
		健康・スポーツ科学Ⅱ(実技)
兼任	准教授	日坂 步都恵 (60) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		こどもと健康 保育内容総論 保育内容「健康」の指導法
兼任	准教授	藤原 照美 (66) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山村 けい子 (63) <令和5年4月> 修士(学術)
		保育内容「人間関係」の指導法
兼任	准教授	佐竹 邦子 (53) <令和5年4月> 修士(理学)
		コンピュータグラフィックスの基礎
兼任	准教授	永井 夕起子 (39) <令和5年4月> 修士(文学)※
		こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ
兼任	講師	足立 法子 (44) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		子育て支援
兼任	准教授	野田 直恵 (61) <令和5年4月> 修士(文学)※
		日本語(読解と表現) 文学
兼任	准教授	三浦 摩美 (59) <令和5年4月> 修士(文学)※
		哲学
兼任	講師	相川 美和子 (64) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		初等家庭科内容論 初等家庭科教育法
兼任	講師	新井 肇 (71) <令和5年4月> 修士(学校教育学)※
		生徒指導論
兼任	講師	稲葉(安藤) 小由紀 (47) <令和5年4月> 修士(学校教育学)※
		こども家庭支援の心理学
兼任	講師	岩本 智依 (44) <令和5年4月> 法学修士
		人権の歴史
兼任	講師	大関 達也 (48) <令和5年4月> 博士(教育学)
		教育の思想と原理 教育哲学
兼任	講師	重親 知左子 (56) <令和5年4月> 修士(言語文化学)
		国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)
兼任	講師	片岡 章彦 (53) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		こども家庭支援論
兼任	講師	高 秀美 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		韓国語(初級) 韓国語(中級)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山村 けい子 (63) <令和5年4月> 修士(学術)
		保育内容「人間関係」の指導法
兼任	教授	佐竹 邦子 (53) <令和5年4月> 修士(理学)
		コンピュータグラフィックスの基礎 数学基礎
兼任	准教授	永井 夕起子 (39) <令和5年4月> 修士(文学)※
		こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ
兼任	准教授	足立 法子 (44) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		子育て支援
兼任	准教授	野田 直恵 (61) <令和5年4月> 修士(文学)※
		日本語(読解と表現) 文学
兼任	准教授	三浦 摩美 (59) <令和5年4月> 修士(文学)※
		哲学
兼任	講師	相川 美和子 (64) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		初等家庭科内容論 初等家庭科教育法
兼任	講師	新井 肇 (71) <令和5年4月> 修士(学校教育学)※
		生徒指導・進路・キャリア教育 の理論及び方法
兼任	講師	稲葉(安藤) 小由紀 (47) <令和5年4月> 修士(学校教育学)※
		こども家庭支援の心理学
兼任	講師	岩本 智依 (44) <令和5年4月> 法学修士
		人権の歴史
兼任	講師	大関 達也 (48) <令和5年4月> 博士(教育学)
		教育の思想と原理 教育哲学
兼任	講師	重親 知左子 (56) <令和5年4月> 修士(言語文化学)
		国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)
兼任	講師	片岡 章彦 (53) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		こども家庭支援論
兼任	講師	高 秀美 (48) <令和5年4月> 博士(学術)
		韓国語(初級) 韓国語(中級)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	阪上 弘彬 (34) <令和5年4月> 博士(教育学)
		防災とコミュニティ
兼任	講師	瀬戸山 悠 (35) <令和5年4月> 臨床心理修士(専門職)※
		病弱児の教育課程と指導法 病弱教育総論
兼任	講師	高井 恵子 (50) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		こどもの食と栄養Ⅰ こどもの食と栄養Ⅱ
兼任	講師	田邊 実香 (51) <令和5年4月> 修士(臨床教育学)
		乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ
兼任	講師	筒井 茂喜 (61) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		初等体育科内容論 初等体育科教育法
兼任	講師	修 暁寧 (68) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		中国語(初級) 中国語(中級)
兼任	講師	豊福 一 (45) <令和5年4月> 学士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	西村 美穂代 (59) <令和5年4月> 準学士
		こどもの保健 こどもの健康と安全
兼任	講師	野世(松林) 英水 (65) <令和5年4月> 学士(文学)
		国際理解と宗教Ⅰ(キリスト教)
兼任	講師	福島 真治 (35) <令和5年4月> 修士(教育学)
		学校組織マネジメント
兼任	講師	藤本 政則 (54) <令和5年4月> 修士(社会福祉学)
		社会的養護Ⅱ
兼任	講師	本多 真 (43) <令和5年4月> 博士(国際文化学)
		生命倫理学
兼任	講師	升井 洋至 (61) <令和5年4月> 博士(農学)
		化学
兼任	講師	松盛 美紀子 (44) <令和5年4月> 修士(アメリカ研究)※
		実用英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	阪上 弘彬 (34) <令和5年4月> 博士(教育学)
		防災とコミュニティ
兼任	講師	瀬戸山 悠 (35) <令和5年4月> 臨床心理修士(専門職)※
		病弱児の教育課程と指導法 病弱教育総論
兼任	講師	高井 恵子 (50) <令和5年4月> 修士(学校教育学)
		こどもの食と栄養Ⅰ こどもの食と栄養Ⅱ
兼任	講師	田邊 実香 (51) <令和5年4月> 修士(臨床教育学)
		乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ
兼任	講師	筒井 茂喜 (61) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		初等体育科内容論 初等体育科教育法
兼任	講師	修 暁寧 (68) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		中国語(初級) 中国語(中級)
兼任	講師	豊福 一 (45) <令和5年4月> 学士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	西村 美穂代 (59) <令和5年4月> 準学士
		こどもの保健 こどもの健康と安全
兼任	講師	野世(松林) 英水 (65) <令和5年4月> 学士(文学)
		国際理解と宗教Ⅰ(キリスト教)
兼任	講師	福島 真治 (35) <令和5年4月> 修士(教育学)
		学校組織マネジメント
兼任	講師	藤本 政則 (54) <令和5年4月> 修士(社会福祉学)
		社会的養護Ⅱ
兼任	講師	井藤 美由紀 (57) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		生命倫理学
兼任	講師	升井 洋至 (61) <令和5年4月> 博士(農学)
		化学
兼任	講師	松盛 美紀子 (44) <令和5年4月> 修士(アメリカ研究)※
		実用英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森 秀樹 (59) <令和5年4月> 修士(文学)※
		教育の思想と原理 教育哲学
兼任	講師	牧田 衛活 (54) <令和5年4月> 学士(経済学)
		私のためのキャリア設計
兼任	講師	森田 麗子 (52) <令和5年4月> 修士(教育学)
		こどもと環境
兼任	講師	足立 昌夫 (54) <令和5年4月> 博士(医学)
		知的障害児の心理・生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	笠谷 佳代 (43) <令和6年4月> 学士(法律学)
		社会的養護Ⅰ
兼任	講師	大牛 英則 (54) <令和5年4月> 修士(教育学)
		初等英語科内容論 初等英語科教育法 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
兼任	講師	高野 美由紀 (63) <令和6年4月> 博士(医学)
		病弱児の心理・生理・病理
兼任	講師	正井 隆晶 (62) <令和8年4月> 修士(教育学)
		視覚障害教育総論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森 秀樹 (59) <令和5年4月> 修士(文学)※
		教育哲学
兼任	講師	牧田 衛活 (54) <令和5年4月> 学士(経済学)
		私のためのキャリア設計
兼任	講師	森田 麗子 (52) <令和5年4月> 修士(教育学)
		こどもと環境
兼任	講師	足立 昌夫 (54) <令和5年4月> 博士(医学)
		知的障害児の心理・生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	笠谷 佳代 (43) <令和6年4月> 学士(法律学)
		社会的養護Ⅰ
兼任	講師	大牛 英則 (55) <令和5年4月> 修士(教育学)
		初等英語科内容論 初等英語科教育法 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
兼任	講師	高野 美由紀 (63) <令和6年4月> 博士(医学)
		病弱児の心理・生理・病理
兼任	講師	正井 隆晶 (62) <令和8年4月> 修士(教育学)
		視覚障害教育総論
兼任	講師	別働 淳二 (54) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		教職入門
兼任	講師	勝見 健二 (59) <令和5年4月> 博士(教育学)
		教育方法・技術論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目」の授業科目名を記入するとともに、下段に☺

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・教育課程充実の理由により、令和5年4月に宮崎光世兼任教授就任。
- ・教育内容充実の理由により、令和5年4月に別惣淳二兼任教授就任。
- ・令和5年4月、井上朋子専任准教授が専任教授に昇任。
- ・令和5年4月、小倉毅兼任准教授が兼任教授に昇任。
- ・令和5年4月、齋藤正寿兼任准教授が兼任教授に昇任。
- ・令和5年4月、穂積隆広兼任准教授が兼任教授に昇任。
- ・令和5年4月、本多彩兼任准教授が兼任教授に昇任。
- ・令和5年4月、Cuomo, Ozase Martin兼任講師が兼任准教授に昇任。
- ・令和5年4月、山崎一諒兼任講師が兼任准教授に昇任。
- ・令和5年4月、本多真兼任講師の就任辞退に伴い、新たに井藤美由紀兼任講師が就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	5
10	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	8	2	0	20	0	11	7	2	0	20	0
(10)	(8)	(2)	(0)	(20)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
11	7	2	0	20	0	11	7	2	0	20	0
[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
67	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{20} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{20} = \boxed{10} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
							該当なし
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
							該当なし
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

— 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	<p>定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p> <p>看護学研究科 看護学専攻（D）</p>	<p>定年規則に定める退職年齢（年度末で67歳）の教員は、本研究科の完成年度末をもって契約期間満了により退職した。「看護学部等人事構想委員会」において定年退職者にあわせた計画的な教員採用計画を策定し、令和3年度より公募を開始した。本計画に基づき、令和5年度に新たに3人を新規採用した（AC教員審査済）。引き続き、採用計画に基づき、年齢構成、教育経験、研究領域のバランスを踏まえた採用人事を行っていく。（5）</p>	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）（5）」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 a 図書54,864 [6,910] 冊 b 学術雑誌〔うち外国書〕1,699 [236] 冊 c 電子ジャーナル〔うち外国書〕3 [1] 種 d 視聴覚資料6,005種	図書1,870 [195] 冊増 学術雑誌17冊増〔外国書21冊減〕 電子ジャーナル3種減〔外国書1種減〕 視聴覚資料14種増 当学科に関連する書籍を含め、教育の充実を図った。 なお、電子ジャーナルはデータベースへの切り替えを行ったため、影響はない。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SD推進委員会規程（別紙1） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 第1回 令和4年4月25日（月） 出席9名 第2回 令和4年5月26日（木） 出席9名 第3回 令和4年6月23日（木） 出席9名 第4回 令和4年7月28日（金） 出席9名 第5回 令和4年9月15日（木） 出席9名 第6回 令和4年10月17日（月） 出席9名 第7回 令和4年11月28日（月） 出席9名 第8回 令和5年1月16日（月） 出席9名 第9回 令和5年2月27日（月） 出席9名 c 委員会の審議事項等 第1回 (1) 2022年度FD・SD活動事業内容と役割分担について (2) 令和4年度FD・SD オフィス推進委員会予算について (3) FD・SD活動について (4) 次回の日程案について 第2回 (1) FD・SD活動について ① 授業公開について ② FD・SD研修会について ③ 教職員カフェについて ④ 授業アンケートについて (2) 次回の日程案について 第3回 (1) FD・SD活動について ① 教職員カフェについて ② FD・SD研修会について
--

- ③ 授業アンケートについて
- ④ Newsletter分科会の状況
- (2) 次回の日程案について

- 第4回 (1) FD・SD活動について
- ① 教職員カフェについて
 - ② FD・SD研修会について
 - ③ 授業公開について
 - ④ 授業アンケートの進捗
 - ⑤ NewsLetter分科会の状況
- (2) 次回の日程案について

- 第5回 (1) FD・SD活動について
- ① 教職員カフェについて
 - ② FD・SD研修会について
 - ③ 授業公開について
 - ④ 授業アンケートについて
 - ⑤ NewsLetter分科会の状況
- (2) 次回の日程案について

- 第6回 (1) FD・SD活動について
- ① 教職員カフェについて
 - ② FD・SD研修会について
 - ③ 授業公開について
 - ④ 授業アンケートについて
 - ⑤ NewsLetter分科会の状況
- (2) 次回の日程案について

- 第7回 (1) FD・SD活動について
- ① 教職員カフェについて
 - ② FD・SD研修会について
 - ③ 授業公開について
 - ④ 授業アンケートについて
 - ⑤ NewsLetter分科会の状況
- (2) 次回の日程案について

- 第8回 (1) FD・SDオフィス推進委員会次年度予算申請について
- ① 次年度予算申請について
 - ② 2023（令和5）年度FD・SD活動事業計画（案）について
- (2) FD・SD活動について
- ① 教職員カフェについて
 - ② FD・SD研修会について
 - ③ 授業公開について
 - ④ 授業アンケートについて
 - ⑤ NewsLetter分科会の状況
- (3) 次回の日程案について

- 第9回 (1) FD・SD活動について（報告・ふりかえり）
- ① 教職員研修会について
 - ② 教職員カフェについて
 - ③ 授業アンケートについて
 - ④ 授業公開について

⑤ FD・SD Newsletter (No. 14) 発刊について

(2) FD・SDカレンダーについて

(3) 次の日程案について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 新任教職員研修
- ・ 初年次教育の実施状況把握
- ・ 授業アンケート（Ⅰ期授業アンケート、Ⅱ期授業アンケート）
- ・ 授業公開
- ・ 教職員FD・SD研修会（オンライン研修会：GP賞受賞者の講演、DX関連の研修会）
- ・ 教職員カフェ（オンラインでワークショップ形式及びフリーディスカッション形式で行う情報交換）
- ・ FD・SDニュースレターの発行

b 実施方法

- ・ 新任教職員研修
年度初めに新任教職員対象に「新任教職員研修プログラム」を実施
- ・ 初年次教育と専門教育連携における「学びの見える化」取り組みへの実施状況把握
兵大Basics“A”「日本語（読解と表現）」「英語」「コンピュータ演習」の基礎力テストを実施
学生の基礎力を把握、学生に内省させた。また、専門教育科目に臨むための基礎力を兵大Basics“B”として学科ごとにふりかえりなどの取り組みを実施した。
兵大Basics“C”は、汎用的能力（ジェネリックスキル）を測る目的で次年度以降、外部アセスメントテストを活用して実施する予定である。専門教育への接続部分である兵大プロフェッショナル力については、学科ごとに専門的な科目を設定しルーブリックや自己評価等でふりかえりができるように設計し、次年度以降に実施する。
- ・ 授業アンケート
Ⅰ期学期末(8月)に、Webによる授業アンケートを実施した。
Ⅱ期学期末(1月)に、Webによる授業アンケートを実施した。
- ・ 授業公開
Ⅰ期・Ⅱ期ともに、全学科において公開科目を設定し、公開期間内において教職員による授業参観を実施。
参観後は、参観シートを記入の上、授業公開者へフィードバックを行った。
- ・ 教職員FD・SD研修会（オンライン）
- ・ 教職員カフェ・オンライン（オンライン）
- ・ FD・SDニュースレターの発行
「兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SDニュースレター」を年2回（9月、3月）発行し、全教職員に配付した。
また、他機関の関係部署等に送付した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 新任教職員研修
（教育分野）令和4年4月3日（日）開催 対象者7人、参加者5人（参加率100.0%）
（研究分野及び地域連携関連）令和4年4月4日（土）開催 対象者5人、参加者5人（参加率100.0%）
- ・ 初年次教育
初年次、兵大Basics“A”「日本語（読解と表現）」「英語」「コンピュータ演習」の基礎力テストを実施、学生の基礎力を把握した。また、専門教育科目に臨むための基礎力を兵大Basics“B”として学科ごとにルーブリック、自己評価を行い、ふりかえりを通じ初年次教育の教育効果を高めた。
- ・ 学びのカルテの作成
兵大BasicsABC、兵大プロフェッショナル力の各種テスト結果、関連する授業成績等を「学びのカルテ」として集約し、LMS（manaba）内で総合的ポートフォリオとして学生に共有・記録の蓄積を行った。
具体的な活用として、年2回教員と学生が面談する「面談システム」を全学で実施。面談で「学びのカルテ」を活用し、学生の「自己分析」や「ふりかえり」の機会を提供しメタ認知力を向上させた。
- ・ 兵大Basics“C”（PROGテスト）の実施
兵大Basics“C”は、大学生活を通して身につけるコミュニケーション力、人間関係調整力、情報分析力、

問題対処力、構想力を指している。兵大Basics“C”（PROGテスト）では「リテラシー」「コンピテンシー」の2種類のテストを実施し、結果をPROG解説会でグループワーク等を重ねメタ認知の内面化を促進した。

・ 授業アンケート

I 期期末：令和4年7月2日（土）～ 8月27日（土） 有効回答率 42.67%

I 期全科目を対象に授業内及び授業外で実施（実施開始日までに授業が終了した科目も含む）

II 期期末：令和5年1月10日（火）～ 2月10日（木） 回答率 35.40%

II 期全科目を対象に授業内及び授業外で実施（実施開始日までに授業が終了した科目も含む）

（実施後のフロー：学生）

- ・ 科目ごとに教員へアンケートをとり、授業アンケートに対する担当教員からのリマインドコメントをまとめ、教学情報システムで掲示し、受講学生へのアドバイスを行う。
- ・ 授業アンケートの詳細な集計結果（大学、短大、各学科別）を学生に対して大学ホームページ等で公表。

（実施後のフロー：教員）

- ・ 専任教員および兼任教員に科目シートを返却。
- ・ 科目担当者は、「授業アンケート」に関するアンケートを記入し、委員会に提出。
- ・ カリキュラム改善および授業改善に活用。

（グッド・プラクティス賞の表彰：教員）

- ・ 授業アンケートの結果から、授業に関する項目を得点化し、高得点の科目（教員）を表彰し、活性化を図る。

・ 授業公開

I 期：令和4年5月23日（月）～6月25日（土） オンライン授業を対象に短期間実験的に公開した。

公開科目数 192科目 授業参観延べ人数 98人（専任教員 72人、専任職員 22人）

II 期：令和4年10月24日（月）～11月26日（土）

公開科目数 91科目 授業参観延べ人数 104人（専任教員 78人、専任職員 26人）

・ 教職員FD・SD研修会（全期間オンライン研修会）

第1回教職員FD・SD研修会：令和4年7月6日（水）

参加者：124名（専任教員 100人、専任職員 52人、非常勤教員 2人）

テーマ：「受賞対象の授業での工夫」講師 4名

第2回教職員FD・SD研修会：令和4年11月2日（水）

参加者：159名（専任教員 103人、専任職員 37人 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校他19人）

テーマ：「DXが進む社会と人材育成について ～自治体の現場から～」

第3回教職員FD・SD研修会：令和5年2月10日（金）

参加者：109名（専任教員 86人、専任職員 22人 非常勤教員1人）

テーマ：「授業改善の実践事例から学ぶ」講師 4名

第1回及び第2回の研修会は、学生対象「授業アンケート」結果から評価が高い教員を表彰する制度の兵大グッド・プラクティス賞（GP賞）、その表彰者を講師とし、授業改善に係る講演を実施した。

その後、GP賞受賞者の授業公開科目の参加者が急増するなど「授業アンケート」「授業公開」でFD活動が活性化でき、GP賞と連携した研修会は教員の授業改善への研鑽の機会となり相乗効果をもたらした。

第2回はテーマを「DXが進む社会と人材育成について ～自治体の現場から～」とし、社会におけるDXの進展による高等教育への影響や求められる人材像などを中心に今後の大学の在り様を考察し知見を深めた。

・ 教職員カフェ（オンライン）

第1回 令和4年6月29日（水） 参加者 62人（専任教員 57人、専任職員 4人、非常勤教員 1人）

テーマ「つながろう ～気になっていること、こだわっていること～」

オンラインが主流の中、もう一度、教職員カフェの原点に戻り、気楽に話し合うことを主旨として、自由に意見を交換し、身近なことを語り合うことを目的とし、コロナ禍で停滞した意見交換をオンラインを使って懇親を深めた。

第2回 令和4年11月30日（水） 参加者 50人（教員 49人、専任職員 1人）

【テーマ1】「DX社会の進展と大学教育」（第2回 教職員FD・SD研修会テーマから）

前回の研修会のテーマに関連した内容について、意見交換（グループワーク）した。

【テーマ2】「キャンパスの賑わい」（FD・SD Newsletter No.13から）

オンラインを使用してテーマ毎にグループに分かれディスカッションを実施した。

DX社会の進展と大学教育や学生の現状や今後の活動等について意見交換した。

- ・ FD・SDニュースレターの発行
第13号（令和4年10月発刊）
「キャンパスの賑わいと学生の近況」をテーマに、対面授業時の学生の活躍に焦点をあてた。
- 第14号（令和5年3月発刊）
FD活動まとめや第2回教職員研修会「DX時代の人材育成」を解りやすく解説する、留学生の近況や活躍など国際交流を取り上げたり、兵大グット・プラクティス賞など様々な取り組みに焦点をあてた。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

前年との授業形態の変化として、Ⅰ期とⅡ期ともにオンライン授業から対面授業を中心とした。教職員FD・SD研修会を実施したことにより、「DX時代の人材育成」「授業改善」など大学教育の喫緊の課題、授業改善に向けた取り組みへの理解を深め、各教職員の教育の質向上に対する意識を高めることができた。教職員カフェは、対面授業に切り替わって学内活動が活発になってきた。学生の活躍から学内の賑やかさを検証し現在の学生の状況を把握していく。第2回教職員研修会では「DX社会の進展と大学教育」を取上げた。現在、日本の初等教育はGIGAスクール構想によりパラダイムシフトをしている。今後起こる大学教育の変化を考えていく機会を設け、DX社会の必要な人材育成につながる授業改善の取り組みを考察した。

2022年度Ⅰ・Ⅱ期授業アンケートは、通常通り授業科目別にwebで実施し、実施後は学生に対しアンケート結果の概要を公表した。また、教員についてもアンケート結果をフィードバックした上で、その結果に対する授業改善に向けたコメントを記載してもらった。学生と教員がともに授業を振り返ることで、今後の授業改善に活用できるだけでなく、教育と学修を全学の視点から考察するデータ資料となった。

FD・SDニュースレターの発行により、大学全体としての教育に対する課題や指針等を伝えるとともに、実際の「FD・SD活動」を周知することができた。当年度は主に対面授業に変わった後の「学生の賑わい」に焦点をあてた。

研修会、教職員カフェ、FD・SDニュースレターに関連性を持たせ、相乗効果により効果的なFD活動が実施でき、組織的に教育力向上に取り組む風土醸成につながった。

以上のような活動を通じて、教員相互、また教職員間において、実質的な授業改善に関する意識と技術を高めるとともに、教育改革の必要性と課題を認識することができ、教育の質向上にむけた啓発および取り組みから資質開発を推進することができた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
2022年度Ⅰ期、対象すべての科目、Webの実施
2022年度Ⅱ期、対象すべての科目、Webの実施
- b 教員や学生への公開状況、方法等
教学情報システム、本学ホームページ

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年6月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（令和5年6月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

記入例）

・令和5年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

兵庫大学・兵庫大学短期大学部 FD・SD オフィス規程

〔平成30年3月28日〕〔平成30年3月28日制定〕
〔学長決定〕〔兵大程第259号〕

(趣旨)

第1条 この規程は、兵庫大学・兵庫大学短期大学部（以下、「本学」という。）が設置する兵庫大学・兵庫大学短期大学部 FD・SD オフィス（以下、「オフィス」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 オフィスは、学長の直轄組織として設置し、本学の教育目標を達成するため、教育改革に係る企画立案等を行う。また、学部学科、共通教育機構および各部署と協働することにより組織的な FD と SD を推進し、教育活動および学生支援を充実させ、教育の質の向上を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 オフィスは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 教育内容・方法の改善に関する事
- (2) 教材開発・授業改善に関する事
- (3) 教育効果および学修成果の評価方法の開発・実施に関する事
- (4) 教職員間の情報共有・交流の促進に関する事
- (5) 本学の教育理念をふまえた教育研究活動・地域貢献の促進に関する事
- (6) FD・SD に関する学内外の情報、資料等の収集及び発信に関する事
- (7) FD・SD に関する調査・研究に関する事
- (8) 教育の質の向上および教職協働に関する事
- (9) その他、FD・SD に関する事

(室長)

第4条 オフィスに、室長を置く。

2 室長は、本学教員の中から学長が任命する。

3 室長は、オフィスの業務を統括する。

(オフィス会議)

第5条 オフィスに第3条に規定する事業の方針およびオフィスに関する重要な事項を審議するため、オフィス会議を置く。

2 オフィス会議は、次に掲げる者で構成する。

- (1) オフィス室長
- (2) 副学長（教育担当）
- (3) 教学部長
- (4) 共通教育機構長
- (5) FD・SD オフィス推進委員長

(6) その他、学長が必要と認めた者

3 オフィス会議は、室長がその議長となる。

4 議長に事故あるときは、あらかじめ、議長の指名する委員がその職務を行う。

(推進委員会)

第6条 オフィスに、全学的FD・SDを推進するため、FD・SDオフィス推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、第3条に規定する事業の運営・実施に係る審議を行い、その企画・立案・実施を行う。

3 委員会は、次に掲げる者で構成する。

(1) オフィス室長

(2) 学長が委嘱する職員

4 前項第2号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

5 前項第2号の委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員会に委員長を置く。

7 前項の委員長は、学長が指名する。

8 委員長は委員会を招集し、その議長となる。

9 委員長に事故あるときは、あらかじめ、委員長の指名する委員がその職務を行う。

(他の部署等との連携)

第7条 業務を遂行するに当たって必要があるときは、関係する教職員及び学外有識者等にオフィス会議あるいは推進委員会への出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第8条 オフィスの事務は、教務課及び総務課が行う。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学運営会議の議を経て、学長が決定する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、オフィスに関し必要な事項は、学長が定める。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規定は、令和2年4月1日から施行する。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨の概要

教育学部は、教育者・保育者としての使命感や情熱を持ち、発達や学びの連続性を踏まえた就学前教育及び学校教育に関する高度な専門知識と優れた技能・実践力を有し、子どもの個性と環境の多様性に対応しながら、共生社会の一員として地域社会に貢献できる人材を養成する。

教育学科は、幅広い教養と教育・保育に関する専門的な知識と技能を有し、多様な人々と協働しながら、子どもの多様性を理解しつつ、興味・関心を引き出し、子どもの主体的学びや自己形成を導くための教育を展開することができる学校教育や幼児教育、児童福祉の専門家を養成する。

2 設置の趣旨の達成状況

設置後約1か月が経過した中で設置の趣旨の概要を学生が理解するまでには至っていない。しかしながら、初年次教育と位置づけている「クラスゼミナール」において、当科目の到達目標である主体的な学びを行うためのコミュニケーションスキル、クリティカルシンキング、スタディスキル、問題解決能力、ソーシャルスキル等の基本的学習姿勢、技術の習得のための授業を通じて、自らのキャリアデザインの設定や教育者・保育者として必要な態度、姿勢の動機づけを行なっている。

学生たちは、授業や指導の中で、教育者・保育者になることの意識をより強く持ち始めている。

また、1年次開講の幼児教育・保育に関連する科目、初等教育に関連する科目の受講を通じ、高校時代の学びとは全く異なる学びに新たな発見を見出し、知識を吸収しようという積極的な意欲が見受けられる。